

# 超小型原子周波数発振器

## CSAC SA.65

原子周波数標準発振器のリーディングカンパニー米国Microchip社(マイクロチップ社)が開発した超小型原子周波数発振器Chip Scale Atomic Clock (CSAC) SA.65は、超小型(16cc)、軽量(35g)、低消費電力(最大140mW)を実現しており、海底センサ、GPS受信機、ポータブル無線機、センサネットワーク、無人機、バッテリー駆動のアプリケーション等に適用可能な超小型原子周波数発振器です。

ウルトラ低電力モードを使用することにより、100mW以下の消費電力が実現可能です。

既存品:SA.45との違いとしましては、動作/保管温度の範囲が広がった事により多くのシーンで使用する事が可能になりました。またウォームアップ時間も2分間と短く、SA.45に比べ約33%短縮しております。



### 主な特長

- 10MHz、16.384MHz
- 1PPS入出力
- 周波数確度： $\pm 5 \times 10^{-11}$
- エージング： $< 9 \times 10^{-10}$ /月
- 動作温度：-40°C~+80°C(OPT002)-10°C~+65°C(OPT001)
- 消費電力：120mW以下
- 寸法：40mm(L)x 35mm(W)x 12mm(H)
- 重量：35g

### 型番

- 090-02789-002：10MHz、RoHs準拠
- 090-02789-002：10MHz、RoHs準拠
- 090-02789-003：16.384MHz、Non-RoHs
- 090-02789-011：10MHz、Non-RoHs
- 090-02789-012：10MHz、Non-RoHs

※CSAC評価用キットの取り扱いもごさいます。